

平成30年度津ノ井小学校学校経営構想図

めざす児童像

あかるく かしこく たくましく

- 「あかるく」・・・相手のことを考え 前向きにかかわる子
- 「かしこく」・・・志に向かって とともに学び続ける子
- 「たくましく」・・・よく遊び 目標に向かってがんばる子

めざす学校像

- 「生き生きとした津ノ井の子」「生き生きとした教職員」で作り上げる「生き生きとした学校」

めざす教師像 ～ステップアップのための7ヶ条～

- ・教師は授業が勝負 「教育は人なり」が原点
- ・子どもたちが中心の学校・時間的、空間的ゆとりを！
- ・保護者へ誠実で迅速な対応 ・共通理解の組織に！
- ・危険管理さしすせそ（最悪を想定し・慎重に・素早く・誠実に・組織的に）

学校教育目標

ともに学び心豊かにたくましく育つ津ノ井の子

研究主題 「心豊かに生きる、やさしくたくましい津ノ井っ子の育成」

～主体的・対話的で深い学びを展開する道徳授業の工夫～

○集団づくり

本年度の重点目標

- ・リーダーの育成、支え合う自治的な児童会活動の取組 ・いじめを許さない、安心して過ごせる仲間づくり【アセスの積極的活用】 ・一人一人が輝く特別支援教育の充実
- ・不登校の未然防止（学校不適應の解消）【教育相談コーディネーターの活用】

○授業づくり

- ・主体的・対話的で深い学びの推進 ・全員で学ぶ授業 めあて、まとめ、振り返り
- ・学力の定着と向上を目指し、「UDを活用した授業づくり」の継続 ・算数科の少人数指導

○生活習慣づくり

- ・生涯にわたって健やかに生きるための生活習慣の定着
- ・運動の生活化（3分間走、ラジオ体操、体幹を鍛える運動等・目標を持ってがんばる）

○学校づくり

- ・保護者、地域とつながり、津ノ井に愛着を持ち大事にする子どもを育てる。
- ・地域創造学校（CS）の推進 → 学校運営協議会の効果的運営：地域とのより一層の連携・協働

集団づくり

○認め・支え・高め合う集団づくり

- ・「あいさつ」運動の継続（あこがれの上級生をめざして）
- ・自治的な児童会活動の定着、拡大
- ・リーダー（フォロアー）の育成
- ・児童の実態把握に基づくアセスと連動した個人面談の実施（面談週間の設定）
- ・「津ノ井っ子のくらし」共通理解と実践

あかるく

授業づくり

○わかる・できる授業づくり

- ・授業づくり「桜10」の活用 → 重点3項目を中心に校内研究の視点を入れていく
- ・全員活動の授業・授業のUDを活用した授業づくりの継続
- ・中学校につながる学習ルールの徹底→桜咲タイムの充実（聴き方、話し方、環境整備）
- ・立腰
- ・「道徳教育実践研究事業」の活用（1年目）
- 一心が育てば学力も伸びる

かしこく

生活習慣づくり

○すこやかな体のための生活習慣づくり

- ・「立腰」を合言葉にした姿勢保持（桜中校区統一）
- ・保護者とともに進める望ましい生活習慣（睡眠・メディア・読書）の定着



たくましく

○地域とつながる学校づくり

- ・コミュニティ・スクールの実施【CSコーディネーターの活用】→学校運営協議会：年3回（自治会・学校支援ボランティア等との協働）
- ・地域の中の学校であることの理解→登下校の見守り・行事を一緒に・学校活動への支援・環境整備等
- ・地域への情報発信→HPの充実 学校だより 年2回実施のオープンスクール等

（学校づくり・桜中校区連携・地域連携）